

◆ 平成24年7月5日（金）議長就任記者会見概要

場 所：議会理事者控室

出席者：山下 力議長、井岡 正徳副議長



山下 力 議長

井岡 正徳 副議長

<案件>

○山下議長 就任挨拶

先ほどの本会議で、議長に選出していただきました。議員31年目で、初めて議長に就任いたします。これまでの議会改革等々の流れ、つくっていただいた流れを絶やさないように、さらに伸ばしていく努力ができればと思います。

○井岡副議長 就任挨拶

この度、多数の議員の支持を得まして副議長に選任されました。その責の重さに誠に身が引き締まる思いでございます。議長を支え補佐役としてやっていきたいと思ひます。

議会改革として、議会の政策形成機能、議会の監視機能について、これからも引き続き、検討していきたいと思っています。

<質疑応答>

記 者；任期はいつからいつまでですか。

議 長；慣例で本日から来年の6月議会という流れになっています。

記 者；先ほどの議長選挙で、議長に就任ということですか。

議 長；はいそうです。

記 者；議長、副議長とも同じ選挙区選出の議員というご感想は。

議 長；仲良くやっています。百条委員会で井岡議員が委員長で私は副委員長でした。

記 者；自由民主党以外の会派からの議長は久しぶりですね。

議 長；平成21年以来です。

記 者；それについてのご感想は。

議 長；自由民主党会派と民主党会派で県議会の運営に責任をもっていこうと、平成21年から連携してやってきて5年目になります。また、ここ数年の議会改革を担ってきたのは、自由民主党と民主党の若手議員が中心でしたので違和感はありません。

第1会派の自由民主党から議長、第2会派の民主党から副議長という基本路線を作りながら、私も8期30年やってきましたから、「一度ぐらひは議長に」というご配慮だと受け止めています。

副議長；以前より政策的な打ち合わせは、民主党と自由民主党でやってきましたので違和感はありません。